

実施・計画指標		取 組 内 容	目標値	現状値(R4)	評価
基本施策1 地域におけるネットワークの強化					
	保健所と精神科病院とのネットワーク強化のための研修会の開催回数	精神科病院とのネットワーク強化を図るため、より活発な意見交換や課題の共有を行いそれぞれの機関のスキルアップ向上を目指して開催している。また、対面での開催が困難な場合は、リモートで開催するなど、コロナ禍においてもリモート等を活用し、継続して実施できる体制を整えた。	6回/年	6回/年	達成
	地域包括ケアのネットワークに加わった関係者数(地域ケア会議を通じて地域包括ケアのネットワークに加わった関係者の延べ人数)	令和3年度から実施している、理学療法士、作業療法士、栄養士等も参加する自立支援型の地域ケア個別会議の開催圏域を増やし、引き続き、地域包括支援センター等による地域ケア会議の開催を通じて、多職種協働による地域包括ケアの取組を進めた。	2,867人	1,702人	未達成
基本施策2 自殺対策を支える人材育成					
	ゲートキーパー養成講座(初級編、フォローアップ編)の開催回数	ゲートキーパー養成講座(初級編、フォローアップ編)を継続して実施し、地域において、身近な人の心のSOSに気づき、寄り添い、専門家につなぎながら見守りをする人材を育成した。	2回/年	3回/年	達成
	ゲートキーパー養成講座(初級編、フォローアップ編)の開催回数養成講座の受講者アンケートで「理解できた」と回答した割合	受講者が理解しやすい内容となるよう、テーマや内容等の検討を行った。	90%以上	98%	達成
基本施策3 住民への啓発と周知					
	メンタルヘルスチェックこころの体温計アクセス数	これまでの周知方法に加え、動画を用いた周知を行った。動画は青森市の広報番組「Aomo LIVE」で放送するとともに青森市公式YouTubeチャンネルで配信した。	4,300件以上/月	3,357件/月	未達成
	こころの相談窓口等の啓発回数(パネル展示、広報あおもり、テレビ、ラジオ等を活用した相談窓口等の周知)	専用電話の設置に合わせて、庁内外関係機関に加え、広く多くの市民に周知するために市内スーパーにチラシやポスターの配置を依頼し周知啓発の強化に取り組んだ。	20回以上/年	49回以上/年	達成
基本施策4 生きることへの促進要因への支援					
	健康度測定総合指導事業における述べ利用者数	新型コロナウイルス感染症の基本的な感染症対策を実施しながら、利用者がトレーニングルームを快適に利用できるよう、老朽化しているトレーニングマシンの更新を図るなど、さらなる利用環境の改善に努めた。	53,000人以上/年	22,146人/年	未達成
	自殺未遂者や自殺に不安を抱えた方への相談対応	これまでの取組を継続するとともに、より多くの方が相談できるよう、過去3年間の自殺者の分析を行い、自殺者の多い10月に「こころの相談窓口」の電話相談の受付時間を延長し、自殺リスクの低減を図った。	100%	100%	達成
基本施策5 児童生徒へのSOSの出し方に関する教育の指導					
	児童生徒へのSOSの出し方に関する教育の実施	児童生徒が相談しやすい環境を整備するとともに、悩みを抱えたときに助けを求めること等の指導については、校長講話や学級指導、相談窓口連絡先一覧の配布時などに全ての児童生徒を対象に実施し、「SOSの出し方に関する教育」を充実させるよう、努めた。	全小中学校1回以上/年	全小中学校1回以上/年	達成
重点施策1 高齢者に対する取組					
	こころの縁側づくり事業において、「つどいの場」を週1回以上開催している地区社会福祉協議会数	高齢者が身近な場所で気軽に生きがいづくりや介護予防に取り組んでいただけるよう、各地区社会福祉協議会や市民団体等が開催するつどいの場の支援を行った。	38地区	18地区	未達成
重点施策2 働く世代に対する取組					
	特定健康診査の受診率	電話、はがき、チラシ、町内会回覧等の受診勧奨を継続し、受診率向上のため受診勧奨の拡大に取り組んだ。	60.0%	37.2%	未達成
	生活困難者の就労・増収率(自立相談支援窓口を利用し、就労支援対象者となったかたのうち就労または増収したかたの割合)	生活困窮者への自立支援については、関係機関と連携しながら、生活困窮となった早期段階から生活支援や就労支援を実施し、自立の促進に取り組んだ。	100%	92.7%	未達成
重点施策3 子ども・若者に対する取組					
	いじめ防止対策への評価(市内公立小・中学校の保護者に対するアンケートのいじめ対策の項目について、「対応している」「概ね対応している」と回答した割合)	児童生徒の些細な変化を、教職員が情報共有できる体制を整えるなど、複数の教職員の目で観察して捉え、いじめを積極的に認知するよう引き続き指導、助言していくとともに、いじめ防止推進教師を中心とした取組を充実させるため、研修講座を通していじめ防止推進教師のスキルアップを図った。さらに、学校が毎月実施している「いじめアンケート」の項目や実施時期について、見直しを指示し、より児童生徒が学校に相談しやすい「いじめアンケート」にして、児童生徒の不安や悩みの解消に向け、早期発見、早期対応に努めた。	90.0%	89.9%	未達成
重点施策4 健康問題を抱える人の支援					
	特定保健指導の実施率	○青森県総合健診センター会場、各地域の市民センター等会場の集団健診受診当日の初回面接での分割実施を継続して行っていくことで実施率の向上を図った。 ○特定健診実施医療機関に対し特定保健指導対象者への利用勧奨の依頼や特定保健指導実施機関を増やす等の取組を検討した。 ○特定保健指導について、対象者の勤務等の都合により、日中の時間帯に利用できないかたのために、平日8時前や18時以降、土日の実施等、利用しやすい環境を整えるとともに、市民にわかりやすい案内を継続して行った。 ○税務部国保医療年金課と浪岡振興部健康福祉課との年4回の評価会等で連携を強化、また、保健指導のスキルアップのため事例検討会を実施しながら、特定健康診査・特定保健指導の進捗を管理した。	60.0%	47.9%	未達成
	産婦の訪問等実施率(保健師等による産婦への訪問指導を実施した割合)	全ての産婦を対象に訪問指導を実施し、支援が必要な産婦の心のケアを行った。	100%	94.6%	未達成